

## 総務委員会議事録

1. 日 時 令和5年5月16日(火) 14時～15時00分

2. 場 所 春日井商工会議所 1階 大会議室

3. 出席者数	委員長	1名
	委員	16名
	アドバイザー	1名
	オブザーバー	1名
	事務局	8名
	合 計	27名

### 4. 議 題

1. 2022年度事業報告並びに一般会計、特別会計収支決算(案)について

2. その他

### 5. 議 事

課長補佐 高木 雅也

定刻に至り、開会を宣し清水委員長に挨拶を求める。

委員長 清水 隆行

挨拶を述べる。

課長補佐 高木 雅也

続いて、下田副委員長に挨拶を求める。

副委員長 下田 勝彦

挨拶を述べる。

課長補佐 高木 雅也

続いて、鈴木アドバイザーに挨拶を求める。

アドバイザー 鈴木 清明

挨拶を述べる。

課長補佐 高木 雅也

委員会規程により、議長に清水委員長を指名し、議長就任を要請する。

(委員長 議長に就任)

議 長 清水 隆行

議事に入り、議題1. 2022年度事業報告並びに一般会計、特別会計収支決算

(案) について事務局に説明を求める。

事務局次長 白木 芳洋

事業報告書に基づき、事業方針、主な実施事業について成果及び結果を報告。

課長 伊藤 伊月

続いて、各会計の説明・収支決算書の内容を説明。

議長 清水 隆行

議題1. について、各委員に質問・意見を求めるも特にないため、続いて議題2. その他について事務局に説明を求める。

課長補佐 高木 雅也

第20期となり初めての委員会開催となるため、自己紹介を兼ねて一言ずつ発言をお願いしたい。また、本委員会には正副委員長、部会長にも所属いただき、運営方針なども併せてお願いしたい。

議長 清水 隆行

議題2. その他について各委員へ発言を求める。

委員 奥村 久子

雇用促進・人材育成委員会は、5月30日に第1回委員会を実施予定。新卒中途シニアなどの市内人材不足の解消や、求職者IT活用への企業対応方法を協議しながら事業検討していく。

委員 三尾 友貴美

企業間交流・産学連携委員会は、5月18日に第1回委員会を実施予定。4月には名古屋ものづくりワールド、11月にはメッセナゴヤに共同出展し、会員企業の技術や商品、サービスを市外に発信し、売上が上がるよう頑張っていきたい。

委員 岡本 博貴

三尾委員長に後れを取らないよう、委員長の背中を押すぐらいの気持ちで頑張っていきたい。中部大学との連携は先生だけでなく学生とも進み始め、学生の知恵や力を借りながら、企業と大学、学生が元気になるような連携を図っていきたいと考えている。

委員 長谷川 弘尚

生産性向上・業務効率化委員会は、生産性向上に関する先進事例視察や、補助金、助成金を活用した業務効率化支援を中心とした事業展開を予定しているため、皆様にもご協力いただきながら会員企業へ周知をしていきたい。

委員 芳村 文子

活力あるまちづくり委員会は、6月7日に第1回委員会を実施予定。初年度は春日井市の現状を把握しどのようなまちにしていきたいのかを協議し、最終的には春日井市にまちづくりの提案をしたい。私自身は7年前に名古屋から春日井に来たよそ者であるが、名古屋で見てきた新しい視点で春日井を見つめなおし、取り入れていきたい。

委員 風岡 明憲

製造業部会は、BtoBの事業所が顧客に対して価格転嫁がしにくいことを踏まえての価格交渉をスムーズに行えるセミナー、中部大学との連携や企業展への出展、視察を通じたGX、カーボンニュートラルの取組みなど、各企業に有益な情報を伝えていきたい。

委員 水野 正弘

建設・不動産部会は、人材確保、人材定着に向けた支援として、外国人人材の採用に向けた情報提供や働きやすい職場づくり等のセミナー開催、一人親方事業者に向けたインボイス制度の取組み支援を行っていく。

委員 林 登茂子

商業部会は、卸小売業、飲食業が一つになった非常に大きな部会の中で、何ができるか現状わからないが、皆さんの声をしっかりと吸い上げて、一つでも二つでも形にできればと思っている。7月3日にはパネルディスカッションを開催するため、ぜひ参加をお願いしたい。

委員 針尾 智子

サービス業部会は、5月11日に正副部会長会を開催。3つの柱で推進するが、市内企業のデジタル化推進では、名古屋商工会議所と連携を図り進めていく予定。これまでは、インボイス制度や人事労務法改正、価格転嫁セミナーを他部会と共催で開催してきたが、さらに有益となるセミナー等を企画していきたい。

委員 若月 宗一

建設業を営んでおり、初めて本委員会に所属させていただく。委員長、副委員長をしっかりと支えていけるよう3年間頑張っていきたい。

委員 伊藤 信一

ペットフード、用品の卸売りの会社で、前期から引き続き本委員会に所属させていただいた。微力ながら精一杯頑張っていきたい。

委員 森 裕美

女性会会長という立場で本委員会に所属させていただいている。芳村委員、

林委員、針尾委員をはじめ、数多くの女性会会員が会議所の役を務めさせていた  
ただいていることが心強い。会議所事業を女性会会員に、女性会事業を皆様に  
知っていただくパイプ役として頑張っていきたい。

オブザーバー 森本 邦博

最近では毎週3時間、商工会議所と打合せをしながら産業アクションプランの  
立案に向けて取り組んでいる。中小企業と地域が一体となって支援していく中小  
企業振興基本条例の制定や、県、市、商工会議所、中部大学の4者が連携して  
のスタートアップ事業、建設券事業を推進していく。

オブザーバー 金子 幸治

昨年、中部経済産業局から出向で経済振興課長として着任した。本職にあと  
何年いられるかわからないが、しっかりと春日井市に貢献できるよう努めてい  
きたい。特にスタートアップ事業については、既存の商工会議所会員企業にど  
のように展開できるか可能性を感じている事業なので、力を入れていきたい。

課 長 小栗 忠昭

事業継続・新事業創出委員会の正副委員長が欠席のため、先日開催した正副  
委員長との打合せ内容について報告。事業継続面では、事業引継ぎに繋げるた  
め、市内で事業廃止する事業所データの収集、先進地視察や事業承継アンケー  
トの実施、新事業創出面では、創業者向けの講演会、BCPセミナーなど、今後  
の委員会での意見を反映しながら事業展開をしていく。

議 長 清水 隆行

以上で議案を終了し、アドバイザーへ意見を求める。

アドバイザー 鈴木 清明

初めて皆様の話を聞かせていただく中で、中部大学という言葉が非常に多く  
出てきた。地元唯一の大学として協力できることはしていきたい。中部大学の  
動きを紹介させていただくと、入学者2,640名定員に対し、志願者数15,337  
名、合格者8,548名、入学者2,798名で定員を若干オーバーしている。就職状  
況は、就職希望者2,006名に対し、内定者2,002名、4月15日現在で4名が就  
職できていない。地元企業への就職希望者も増えており、これからは皆様には  
学生を含めてお世話になるかと思う。

課長補佐 高木 雅也

続いて、木野瀬副会頭に挨拶を求める。

副 会 頭 木野瀬 吉孝

本日、会員数の話があったが、新型コロナの影響で各種自治体から手厚い支  
援があり、それをサポートした商工会議所の利用価値が高まったのではないか

と思っている。中小企業振興基本条例は様々な都市が制定しているが、春日井市はどのような条例を制定するのか、また産業アクションプランは中小企業の振興に資するようなことはどういうことなのかということを、春日井市と一体になって真剣に協議をしているところである。

また様々なセミナーの案内があったが、ぜひ覗いて見てほしい。6月6日には、神領町の中部電力社宅跡地の土地開発が産学官連携により実現した事例紹介を、KASUGAI 産学交流プラザ主催で開催する。春日井市から多額の支援をいただき、中部大学との産学官連携事業を実施している。会員登録制ではあるが費用はかからないため、ぜひ登録してほしい。

課長補佐 高木 雅也

本日の総務委員会の閉会を宣す。

時に、15時00分